

一步前へ! 私らしく輝いて生きる



渡邊 法子 (わたなべ のりこ) さん

(元稲取温泉観光協会 事務局長 / 内閣府地域活性化伝道師)

専業主婦でもあった渡邊さんが、地縁も血縁もない土地の観光協会事務局長に応募し、「私らしく輝いた」経緯を伺いました。

1 目の前の課題に懸命に取り組む中で...

結婚後、3人の子どもに恵まれました。一番下の子が幼児期から手が離れたころ、かねてからの思いもあり中国哲学を学ぶため大学院受験に挑戦しました。合格通知を頂いてから夫に事情を説明し許しを得たことを覚えています。「今さら何になりたいのか?」「お金にもならないのに、そんなものを学んで何になるのか?」など、周囲から疑問を投げかけられることもありましたが、中国について学びたい、自分を磨きたい、社会と関わっていききたいという思いに自ら蓋をすることはできなかったようです。

2年で修士課程を修了、その後も研究生として大学へ通い続け43歳のときに博士課程に進みました。学ぶ機会があれば進んで積極的に挑戦し、その積み重ねから共著出版や大学ゼミの助手、NPO 法人事務局長、カルチャースクール講師など様々なことを担わせていただくようになりました。何かになりたくて努力を続けたというよりは、目の前の課題に懸命に取り組む中で、私という人間が生をうけ、この世にいただいた命を使って社会のお役に立っていききたいという一心が育かれたように思います。太陽は雲の上でも永遠に照り続けています。誰もが生きている限り自分の希望の太陽を持っていて、たとえなにかの事情で一時的に曇ることがあっても、その太陽を照らし続けることができるのではないかと思います。

思い起こせば3人の子どもの子育て中にも、稼業を手伝いながら、虹のポケットというグループに所属して地域の子どもたちへの読み聞かせや国際交流などのボランティア活動や、地域の青少年と共に池袋ロックネットワークを創設し音楽活動を通して若者が社会貢献する機会を作る等、地道な地域活動を続けていました。

しかし社会では妻の立場で稼業を手伝うことや地域活動、市民活動については仕事のキャリアとして評価しない風潮があります。ノンキャリアの専業主婦ということになるのです。

2 ノンキャリアの主婦が稲取温泉観光協会事務局長に...

知恵と汗をかきながら予算も厳しいNPO 法人の事務局長を務めながら全国のまちづくり活動に取り組んで3年経ったころ、稲取温泉観光協会が事務局長を募集しました。当時は団塊の世代が多く職を辞する2007年問題が社会的課題でした。あえて「よそ者」を公募するという珍しい観光振興の取組事例でもあったため、マスコミがニュースとして盛大に取り上げました。

予算が無い中で会員や地域住民と、知恵と汗とを結集してまちづくりの支援事業を実施していた市民活動の実績を活かして稲取温泉のお役に立てるなら、また人文地理学の観点から半島にも関心があり、応募しました。離婚してお金がかかる年代の子ども3人と安心して生活していくためにも、公募要件の年俸700万円は好条件でもあり、子どもたちには1次審査を通過した折に相談し最終試験に臨みました。1次審査は2000字の論文でした。1281名の中から無事に選考され、その論文は私の公約になりました。誰一人しらない土地で、その公約の責任を果たすために孤軍奮闘の日々が始まりました。

新事務局長が何かをしてくれるという依存的な感覚の稲取温泉地域の人に「まちづくりは稲取の地域に住む人が主体的に行うべき」と訴えました。就任2ヶ月後には稲取のおじさんから「おめえが女じゃなかったらとっくにいらねえよ〜!」と言われました。どんな状況でも自分で自分の心に太陽を昇らせて希望を抱いて進むしかありません。地域の人と本音でぶつかりあい本気でまちづくりに関して意見をかわしながら、楽しくも愉快的な活動が展開しました。

着任早々地域ボランティアを募集しました。「こらっしえ稲取大作戦!」です。農業者、漁業者、つまり観光事業者だけ

ではなく、町中から老若男女約40数人が主体的に参加をしてくれました。「あるものさがしみがいて発信総合プロジェクト」は伊豆稲取温泉への集客のしくみづくりであり、開始後わずか3ヶ月で住民が主体となった着地型旅行会社が誕生し、数々の着地型旅行商品(稲取温泉のオプションツアー)をメンバーで企画し、販売するようになりました。任期を伸ばして3年間務め、中国語圏からの訪日観光客誘致など公約のすべてを実行することができました。現在も数々の全国の事業を担わせていただいています。

3 主体性の中にこそ幸福が存在する...

家事や育児の忍耐力や生活の知恵、地域活動等に貢献する平和的な感性や母性は大いに社会に活かされるべき素晴らしい能力だと思います。その力はキャリアとして十分に評価されるものだとも思います。自分自身の存在に確たる自信を持って積極的に社会に参画していただきたいと願います。主体性の中にこそ幸福が存在するのだと思います。

どんなに小さなことからでも構わないのです。「希望の太陽」を心に抱きながら一步前へ、私らしく輝いて生きましょう!



渡邊 法子 (わたなべ のりこ) さんプロフィール

1960年 大阪府出身。現在豊島区在住。2女1男の母53才。03年NPO 全国まちづくりサポートセンター事務局長。07年伊豆稲取温泉「まちおこし」のために全国から観光協会事務局長を公募、1281名から選ばれて就任。09年内閣府「地域活性化伝道師」として各方面に活躍の場を広げる。

開催報告

【区民企画運営講座 2013】

一步前へ! 私らしく輝いて生きる ～ 崖っぷち主婦の挑戦 ～

日程: 平成25年9月26日(木曜日)午後2時～4時
会場: エポック10 研修室2(勤労福祉会館4階)



夏の暑さも一段落し心地よい秋の風が吹く彼岸明けの9月26日、渡邊法子さんの講演会が開催されました。開始直前に雨が晴れ間に変わり、満員御礼35名の方が参加してくださいました。

『一步前へ! 私らしく輝いて生きる - 崖っぷち主婦の挑戦 -』という、タイトルからもワクワクするような内容を楽しみエピソードを交え、渡邊さんのお人柄が滲み出る素敵な笑顔でお話しをしてくださいました。

講演会は、「笑いあり」、「頷きあり」、「時に真剣にメモをとる場面あり」と、盛りだくさんの内容で、あっという間の時間でした。

質疑応答のコーナーでは、『「あるものさがし」の発想はどこから?』等々、積極的にご質問やご相談をしてくださり、みなさんが目的をもって講演会に参加されている様子がうかがえました。

渡邊さんが最後におっしゃった『夢を叶えた人の条件は、「夢をもったこと」「夢をあきらめないこと』』というお言葉が印象に残り、夢を叶えた渡邊さんのパワーに触れ、一步前へ進むきっかけをいただけた講演会でした。

【この講座は、『エポック10エンパワーメント講座2013』を受講した方たちが企画、運営しました】

